



【2023年度・冬期開園期間】 11/11(土)～2024/4/7(日) ※12/30(土)～2024/1/1(祝)は休園
 【開園時間】 午前10:30～午後3:30(最終入園は午後3:00まで)
 ※雪あかりの動物園は2024/2/10(土)～12(祝) 午前10:30～午後8:30(最終入園は午後8:00まで)

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
 動物図書館
 ☎0166-36-1104



10/19来園

デン (1歳オス)

「もうじゅう館」には アムールヒョウのオスが仲間入り

10/19にデンマークのコペンハーゲン動物園からオスのアムールヒョウ (2022/5/2生まれ) が来園しました。しばらくは寢室で過ごしていましたが、冬期開園からは、外放飼場に出ています。いまでは、メスの「みらい」(6歳)、ユキヒョウの「ユーリ」(4歳)の間の放飼場で物怖じせず、堂々とすごしています。とにかく体が大きく立派なオスです。将来的には「みらい」との繁殖を目指しています。

6歳のメス「みらい」。顔の模様はもちろん、1歳のオス「デン」と大きく違うのは体の大きさです。



みらい (メス)

種の違いや、オスとメスの違い観察しよう! 冬期開園から仲間入りした動物たち

イツカ (メス)
 2023年3月生まれ

リッカ (メス)
 2023年8月生まれ



11/7来園

ヒツジの品種はミックスで「ジャコブ種」(母)と「ロマノフ種」(父)から生まれました。※きょうだいではありません

「こども牧場」にはヒツジとニワトリが仲間入り

※モルモットとカイクサギも仲間入りしています

園内で唯一、生きものとふれあうことができる「こども牧場」では、人間と密接な関わりがある家畜やペットを飼育しています。冬期開園からは茶色や焦げ茶の毛がはえているヒツジ2頭と、茶系のニワトリ5羽が放飼場に出ています。ヒツジの品種は世界で約1000種、ニワトリは世界で約250品種(細分化すると500品種以上)、日本だけでも50品種以上存在するそうです。「ありがとう」「いただきます」の気持ちを大切にしながらつきあっていきたい生きものたちです。



手前の2頭は今回仲間入りしたヒツジ。一番奥は「サフォーク種」です。

秋をほとんど感じないまま冬になってしまいました。山のドングリが不足しているのか、園内ではエゾリスやミヤマカケスがドングリを毎日のように貯食したり、食べたりしています。昨年たわわに実った園内のナナカマドの木に、今年は、実がついていません。ヒグマが人の生活圏に多く現れているように、今年は山の幸が不作なのがわかります。山だけでなく、海でも「海水温が上がってサケの漁獲量が減っている」と報じられていました。今年は暑さが長く続き、秋をほとんど感じる事ができませんでした。生きものにとって、秋は冬を迎えるための準備の季節。私たち人間もしっかり備えて寒い冬を乗り越えたいですね。異例な冬にならないといいですね。



「ニワトリ・アヒル舎」には白くて大きい「ハクシヨクレグホン」がいます。茶色がかった「ポリスブラウン」と体の色以外に何が違うか、観察してみてください。※ニワトリの写真は全て11/18撮影

ニワトリの品種は「ポリスブラウン」です。

9/16 たまごで来園

茶色部分が一番多く5羽中一番色が濃い



対象は小学生 第24回動物読書感想文コンクールの作品募集は12/1(金)からスタート!

今年で24回目を迎える「動物読書感想文コンクール」の作品募集が12/1(金)から始まりました。毎年、旭川市内はもちろん、道内外からもたくさんの作品が集まるコンクールとなっています。受賞作品は「入選作品集」としてまとめられ、読者の皆さんのほか、旭川市内の小学校や図書館・公民館に配布しています。作品の応募締切は冬休み明けの1/26(金)となっております。応募用紙と作品を旭山動物園宛てにお送りください。たくさんのご応募、お待ちしております!

応募締切
 2024(令和6)年
 1月26日(金) 必着



応募要領(左)と応募用紙(上)は、公式ホームページからダウンロードできます。ふるって応募ください!



2023-2024冬の生きもの観察メモ

●動物たちの寒さ対策…密度の高い冬毛、脂肪をためて断熱・防寒、仲間とくっついて寒さを防ぐ、羽毛をふくらませて体温を断熱(鳥類)といった季節により変化するものと、備わっている体のしくみを観察
 ●雪と動物…冬でも平気な動物は雪と戯れる姿、寒さが苦手な動物の多少の雪でも大丈夫な行動、キングペンギンの冬の運動不足解消対策「ペンギンの散歩」は、雪がたっぷり積もってからになります